

台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2017年4月3日号 東京発行 NO.240

発行元: 有限会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4 TEL: 03-5917-0045 FAX: 03-5917-0686 http://www.taiwannews.jp E-mail: info@taiwannews.jp
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350円(税込) 定期購読 12回: 3,500円(税込) / 24回: 7,000円(税込) ●郵便振替: 00140-4-594168



台湾8都市県長らが訪日 — 農産物「安心安全」をPR —

「FOODEX JAPAN2017東京国際食品店」の開催に先立ち3月6日、台湾行政院農業委員会(以下:農委会)と高雄市政府主催の合同記者会見「2017台湾農産物ならではの味わい」と題したPRイベントが千葉県幕張市のマンハッタンホテルで行われ、FOODEXに初参加となる嘉義市、台中市、新北市など8都市の県長、市長らが参加した。FOODEXの台湾からの出展者数は129社と対前年比で15%増。2012年の台湾業者が初出展して以来、過去最大数を誇った。

記者会見で、高雄市の陳菊市長、新北市の葉惠青副市長、台中市の林佳龍市長、雲林県の丁彦哲副市長、嘉義県の張花冠市長、屏東県の潘孟安市長は、自らの土地で生産した農林水産物や食品の「安心安全」をPRした。

主催者の一人である農委会の林聰賢主任は、以前台湾からの輸入を禁じられていた「インドなつめ」及び「ポンカン」が解禁され、日本市場に参入できるようになり、さらには日本の学校給食にも提供されている事に言及し、今後も多くの日本の消費者に最も優れている台湾の農産物を選んで欲しい、と訴求した。また、「今後手に取った食材の農産地が、『台湾』と記載されていたらどうか安心して欲しい。そして今後、日台の友好関係を築いていく上で農産地に視察に来て欲しい」と話した。



県市長ら記念撮影

来賓の台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表、中華民国対外貿易発展協会の黄志芳理事長は祝辞を述べ、謝代表は2月24日より日本で実施されている「プレミアムフライデー」に際し、「土日含めた2.5日の連休にどの国への渡航が一番多いか」との大手旅行会社JTBが実施した調査で、「台湾が最多」と発表。台湾を選んだ理由を「台湾の美食を求めて」とした。謝代表はこの結果を受けて言及し、「台湾料理が注目されている今、今年の展示会では台湾農産物の販売促進や

宣伝する絶好のタイミングである」と強調。「友達や友達を通じて台湾の食品や全てのものを発信して欲しい」と述べた。

また黄理事長は、2016年の台湾から日本への輸出額は7.9億米ドル、一方、日本からの輸入額は10.11億米ドルだった事を発表し、日本は台湾にとっての第2の食品輸出国であり、台湾の第2の輸入国であるとし、今後も互いに補い合う余地が必要だと指摘した。さらに、「日本は農産物栽培技術や加工産業発達が優れており、

それは台湾が見習う分野であり、同展を通じて両国互いにビジネスチャンスが広がる事に期待したい」と話した。

また、同記者会見には、先日日本卓球の福原愛選手と結婚した今回のPRイベントのイメージキャラクターでもある台湾卓球の江宏傑選手もスペシャルゲストとして参加。「日本の市場に台湾の優れた農産物を紹介できる事は大切な事。台湾の農産物も日本の農産物も一番!」と話し、さらには高雄市のパイナップル、台南市の胡麻、嘉義市のピーナッツ等台湾農産物を使用したサラダ作りを実演した。このサラダは福原選手も大好きだという。普段は福原選手が作る事が多いと緊張気味に話す等、私生活についても触れた場面もあった。

なお、同記者会見には各都市の物産も展示され、参加した製造業者らが各々PRを行う



江選手はお手製のサラダを披露

TOPIC

日本語版

- 台中林市長、小池都知事と会談 2面
- 東京タワーで開催の台湾祭、多勢来場者で入場制限も 3面

中国語版

- 2017東京食品展 8都市首長推銷台湾農特産 江宏傑助陣 4面
- 謝依愛連成五連霸獲名譽女流棋聖 首位三項名譽頭銜女棋士 5面
- 日本台湾祭2017 8面

WEBでもニュース記事が読めます
http://blog.taiwannews.jp/

南国料理で宴会プラン楽しく歓迎迎会!!

予約電話: (03)5215-2537

た。なかには同じ都市同士ユニフォームを揃えるなど、団結を強調している都市もあった。

「FOODEX JAPAN2017東京国際食品店」は3月7日から10日までの期間、幕張メッセで開催された。

謝代表、震災六周年追悼式で哀悼の意を表す

東日本大震災から6年となる3月11日、日本政府主催の「東日本大震災六周年追悼式」が東京都千代田区の国立劇場で行われ、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表が参列した。

式中謝代表は、献花台に花を供え、犠牲者とその遺族に哀悼の意を表した。また式終了後は、日本と台湾は頻りに自然災害が発生するが、近年では大規模災害が発生した際、日台は第一に救助し互いを気遣っており、この事は他国協力の模範であるとした。また、「今後は経験や情報の共有を通じ防災協力体制を強化し、災害対応能力を高める事に期待」と述べた。

なお、同式には秋篠宮ご夫妻や安倍首相、遺族の代表およそ900人が出席し、地震が発生した午後2時46分に出席者全員が黙祷を捧げた。

安部首相は、「災地に足を運ぶたび、震災から6年を経て復興は着実に進展している事を実感。インフラの復旧がほぼ終了したほか、復興は新たな段階に入っており、さらなる復興へと加速して参る」と述べた。

FOODEX JAPAN2017に台湾過去最大数の出展



保障責任雲林農新湖合作農場が加工栽培した野菜

今年で42回目となるアジア最大級の国際食品飲料展示会「FOODEX JAPAN2017東京国際食品店」が3月7日から10日までの4日間、幕張メッセで開催された。

台湾からは、今年初参加となる嘉義市、台中市、新北市のほか、高雄市、雲林県、嘉義県、台南市、屏東県の8つの都市から、出展業者数は129社に達し、2012年に台湾業者が出展して以来、最大規模だっ

た。さらに、今年の台湾館パビリオンの面積は1500㎡を超えと出展国77ヶ国中4番目であった。

初日の8日には台湾館パビリオンで開幕式が行われた。高雄市の陳菊市長、台中市の林佳龍市長、嘉義市の涂醒哲市長、嘉義県の張花冠市長、屏東県の潘孟安市長、新北市の葉惠青副市長、台南市の張政源副市長、雲林県の丁彦哲副市長のほか、台湾行政院農業委員会(以下:農委会)の林聰賢主任、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表、中華民国対外貿易発展協会(以下:外貿協会)の黄志芳理事長、經濟部国債貿易局の徐大衛副局長が参加し、テープカットを行った。經濟部国債貿易局の徐副局長は、「今年は日本だけではなく、韓国や東南アジア等13ヶ国の食品展示会に出展予定で、台湾の食品を紹介していきたい」と意気込みを語った。農委会の林主任は、

「今年は台湾プロモーション国家チームとして参加しており、生産や加工の品質管理を行っている。単に美味しいだけではなく、人情あふれる台湾の味を楽しんでほしい」と述べた。

また、台湾館パビリオン主催者でもある高雄市の陳市長は、「今年は農委会によって8都市を招く事ができ、過去最高の規模となった。高雄市政府は型農のオーナーや農業専門家を招き、同展に参画している」と説明したほか、「高雄市の健康で安全な農産物を提供する」と話した。

台湾各地のグルメ、日本上陸目指す

多くの出展業者の参加目的は日本の代理店探しであった。まだ日本に代理店がない業者が大部分を占めるが、昨年冬に100万トンの野菜を日本に輸出している「保障責任雲林農新湖合作農場」のように、代理店を増やすために参加している企業も少なくない。この

農場はオーダー制による加工栽培を手掛けており、オーダー後わずか4日で日本に商品が届く。目下、多数の日本大手チェーン飲食店が利用しているとの事。しかし、現在台湾国内シェアが95%で、輸出は残りの5%にとどまる。今後は輸出を伸ばしていきたい構えだ。

また、金三峽食品有限公司の林芳民社長は「現在台湾で人気のある商品は全て賞味期限が短いため、今後、日本向けには商品開発が必要となる」と指摘。日本で自社製品を売り出したいとする一方で、現実の問題も伴ってくるとした。

なお、同展はBtoB(企業間取引)を展示の主力としているが、台湾の味を認知させる狙いから、来場者向けの試食品の提供も行っていた。一般的なパイナップルケーキとは一味違うものを提供するなど、初めて食べる台湾のグルメに、来場者も笑顔で「美味しい!」と言いつつ業者と話している場面も多々見受けられた。

プラスの力になる
台湾新聞

続けて読むから「台湾」が解る
台湾のとれたて情報を毎月お届け。

年間定期購読
毎月第1月曜発行

お得01 送料無料でお届け!

お得02 1年契約で700円お得!
※12回発行で購読料3,500円(1部350円×12=4,200円)

～お申込みはかんたんです(住所:電話番号:お名前:契約月)～
お申込み窓口 (TEL03-5917-0045 FAX03-5917-0686) まで
メールでも受付中! (info@taiwannews.jp)

絶賛発売中!! 台湾あります

日本で堪能できる台湾料理のお店を厳選して掲載しました。

店頭で使えるおトクなクーポン付き

家庭で作れるかんたん台湾料理レシピ付き

Delicious Taiwan vol.2
日本で食べる! 本場のおいしい台湾料理

お問い合わせ
台湾新聞社 台湾新聞編集部
03-5917-0045 info@taiwannews.jp

¥1,500+税

EVA AIR 5 STAR AIRLINE SKYTRAX

エバー航空
航空業界 最高評価
SKYTRAX 5スターエアライン

エバー航空についてのおトクな情報はこちらをチェック!

HP Twitter Facebook

東京タワーで開催の台湾祭 来場者多数で入場規制も



邊芳邦市長、主催者である詹德薫氏(日本中華聯合總會名誉会長)らが出席し、鏡開きを行った。

謝代表は挨拶で、近年密接な関係を築いていく日台関係を説明した上で、現在各地で行われる台湾のお祭りについて、「日本人に台湾を理解して頂く上で重要な活動である」とし、各地でお祭りを主催する在日台湾華僑らに対し感謝の意を伝えた。

「東京タワー台湾祭 2017」が3月18日から3月20日までの3日間、東京タワー(東京都港区芝公園)の屋外特設会場で開催された。会場には、担仔麵、台湾麵線、湯圓、魯肉飯、マンゴーかき氷、葱油餅、タピオカミルクティーなどの台湾夜市で人気の屋台グルメが並んだほか、ステージでは台湾に縁のあるアーティストなどのパフォーマンスも行われた。台湾グルメを求め初日より来場者が多数押し寄せ、会場は終始満員状態で台湾人気を肌で感じる催しとなっていた。2日目には入場規制が実施され、入場まで2〜3時間待ちになるなど予想を上回る来場者だった。

また、屋外で行われた同イベントは、日本人に絶大な人気を誇る台湾観光地「九份」の雰囲気が演出され、天井には赤提灯が飾られた。なお、21時頃まで開催されたため、夜には赤提灯と東京タワーのライトアップという絶妙なコラボレーションとなった。

初日の18日にはステージで開幕式が行われ、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表のほか、日本電波塔株式会社の取締役執行役員で観光本部長の吉成二男氏、木更津市の渡

夜はライトアップで「九份」の雰囲気

で重要な活動である」とし、各地でお祭りを主催する在日台湾華僑らに対し感謝の意を伝えた。

また、吉成部長は、東京タワーで台湾祭りを開催する事について喜びのコメントをした、今後も毎年東京タワーで開催して欲しいとの希望も伝えた。なお、吉成部長は先日家族で台湾を訪れ、実際に「九份」の雰囲気を体験してきたという。吉成部長は、「東京タワーの台湾祭も、初日の今日はおかげさまで多勢の方にお越し頂き、賑わう九份の雰囲気を充分に感じられると思う」と話していた。来場者は日本人はもとより、台湾や香港、さらには観光で訪れている欧米系の外国人旅行者の姿も多く見受けられ、日台に限らず多国籍の文化交流が行われていた。



来賓と主催者による鏡開きの様子

緋桜植樹十周年、代表処で盛大に祝す



代表処公邸の緋桜

台湾緋桜植樹十周年を記念した日台文化交流会が3月10日、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表官邸で行われた。2007年11月29日、旧皇族および旧華族関係者等で組織されている「霞会館」の北白川道久理事長より台湾緋桜3本が同処に寄贈された。そして、同処公邸に植樹されてより10年が経ち、北白川理事長、謝代表、来賓らが同会に出席し、十周年を盛大に祝した。

謝代表は、「本日のような交流会は日台文化交流の位置づけである。同会にて、茶芸や詩吟等台湾の伝統的な文化を日本人に知っていただきたい」と述べ、「日本と台湾は自然災害以外にも少子高齢化等の社会問題も相似しているため今後も互いに協力していきたい」と311大震災について言及する場面もあった。

また、北白川理事長は、「日台友好の1つとなればとの想いで緋桜を植樹して以来10年、日台の友好関係はどんどん良くなってきている。10年後20年後も本日のような記念交流会をやってほしい」と語った。

当日は同会の開催を祝して、「杵勝会」による

三味線の演奏、霞会館「絲竹会」による日本の雅楽演奏、そして謝代表、謝代表夫人、二松学舎大学張明輝名誉教授による詩吟が披露された。さらには、台湾留学生及び台南の「十八卯茶莊」による原生蘭で作った花茶を用いた茶芸(お点前)を披露するとともに、台湾語の詩吟詠と「陶声門オカリナ室内楽団」芸術監督の官鋒忠先生によるオカリナ演奏が共演され、会場内を和ませた。

なお、この花茶及び胡蝶蘭などを材料にした菓子由来に提供され、台湾文化を存分に経験する事ができた。台湾で胡蝶蘭は、人々に感動と幸せを与えられているとされている。



台湾茶の作法とオカリナのコラボレーション

涂嘉義市長、火鶏肉飯実演



嘉義市出展業者らが火鶏肉飯などをPR

嘉義市グルメの魅力を紹介するイベントが3月8日、「FOODEX JAPAN2017東京国際食品店」の台湾パビリオン内で開催され、嘉義市の涂醒哲市長自らが参加し、嘉義市名物である火鶏肉飯(七面鳥ご飯)の調理が実演された。

今年1月の一ヶ月間に日本から台湾への旅客数が13万人に達したが、その内、嘉義市へ足を運んだ日本人観光客は1%にも

満たなかったという統計が出た。これを受け同イベントでは、先ずは北回帰線が通る亜熱帯気候の都市である嘉義市のグルメや未知の魅力を日本人に知ってもらう事を目的とした。涂市長は、「嘉義市には今回紹介したグルメの他にも魅力ある楽しい見所がたくさんある。また、嘉義市はあの有名な阿里山森林鉄道の出発点である。嘉義市を訪れた際には、嘉義市から阿里山に向かっの森林浴旅行を是非楽しんで欲しい」と話した。

嘉義市からは、火鶏肉飯、お菓子、碗稞(お米プリン)、小吃(シャオチー)等8業者が出展した。この嘉義市の8つの特産食品を、同イベントのナビゲーターであり、台湾旅行ガイド等、台湾に関する本を出版している片倉佳史さんにより一業者ずつ紹介された。さ

らには、涂市長が調理した火鶏肉飯や碗稞等の試食会も行われ、嘉義市のグルメは多くの日本人来場客を魅了した。

また嘉義市は、日本でも注目された日本統治時代の野球を物語にした映画「KANO」の舞台の都市であるほか、日本統治時代の建築物を喫茶店やレストラン、公共空間として利用している等、日本との縁を大事にしている地方自治体でもある。

なお、今回火鶏肉飯のお米は日本産のもので、涂市長は同展には日本産のお米を扱っている日本業者も出展しているため、今後の製品開発の上で協力できる部分がないかとの興味も示していた。



涂市長(右2)が火鶏肉飯を実演

日台スカラシップ受賞学生らが台湾研修 ～次世代の日台架け橋を目指して～



国立故宮博物院前にて。13人の受賞学生ら

日本工業新聞社(フジサンケイビジネスアイ)と産経新聞社が日本と台湾の文化交流促進を目指して行う「第14回日台文化交流青少年スカラシップ(以下:日台スカラシップ)」の受賞者による台湾研修旅行が3月21

日より26日まで5泊6日で行われた。同研修旅行に参加した受賞学生13人は、現地での交流を通じて台湾への理解と興味を深め、次世代日台交流の架け橋となるべく第一歩を踏み出した。

受賞学生らは同研修旅行で、陳建仁副総統や外交部国際傳播司参事回部辦事の李國榮氏、亜東関係協会副参事の張淑玲氏、教育部国際及兩岸教育司副参事の黃冠超氏らを表敬訪問。訪問の際には、台湾の現状や日台交流への思いなどの説明を受けただけでなく、具体的な質問を問いかけるなど、積極的な交流を図った。

また、台北市内では国立故宮博物院や龍山寺、中正紀念堂、孔子廟の観光、伝統芸能である布袋戲(人形劇)の体験、烏来の原住民文化体験のほか、台南では赤炭樓と国立故宮博物院南院、嘉義では八田與一記念園区と烏山頭ダムなどの観光名所も訪れ、台湾の風土や文化にも触れた。さらには地元の延平高級中学や東呉大学で若い世代同士の文化交流を行い、台湾人学生の自宅へのホームステイなども経験した。別の際には泣き出す学生もいるほど、密な交流となった。

訪問団の学生団長を務めた立教大学3年生の浅野華さんは「陳副総統とお会い出来た事は貴重な機会ですので、一番印象に残っています。また、ずっと前から知っていた烏山頭ダムに実際に行った事も嬉しかったです。当時の日本人が台湾にダムを作り、それを今でも大切にしている台湾人がいる事に感動しました。今後、日台の架け橋に

なりたと思っていますが、それは、『何かしら日台に貢献しなければならないという事だ』という意識が芽生えました。今回の研修で同じ意思を持つ仲間とも出会え、みんなに負けないように、いつかは日台のために日本の代表として活躍したいと思っています」と目標を語った。

日台スカラシップとは、台湾に関する作文、または中国語のスピーチで審査を行い、中学生、高校生、専門学校生、大学生(大学院生含む)の応募者の中から、大賞・優秀賞の受賞者を台湾研修旅行に招待するといった取り組み。日台間の相互理解や交流を深める事を目的に行われており、今年で14回目。今年には応募者515人の中から1人が大賞、1人が審査委員長特別賞、11人が優秀賞を受賞し、13人全員が研修旅行に参加した。

出発日の21日午前には、東京都千代田区のサンケイプラザで表彰式が行われ、台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表らも出席。謝代表は、「受賞者らが将来、台湾と日本の友好交流の懸け橋となり、台湾の若者と共に国際社会に貢献できるように期待している」と話し受賞学生らを激励した。



延平高級中学にて日台学生同士の交流

簡単で効率のよい経理を支援します

大塚会計事務所

起業された方や、J-SaaS(サーズ)やパソコンで会計を始めるといふ方へ、毎日の経理処理や経理作業を簡単に効率よく進められるやり方をご支援いたします。

お気軽にご相談下さい

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-12-1 佐伯池袋ビル306

TEL: 03-3985-5730 FAX: 03-3985-5731

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別)	北京 ¥30,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別)	曼谷 ¥32,000(税別)	新加坡 ¥32,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊 ●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實

精通國、臺、日語服務親切

※銀行匯款口座 三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店(普) 3678888(名義) 嘉南観光(株)

營業時間: 週一～五 9:30～18:30 週六 9:30～13:00

TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989

地址: 〒169-0073新宿区百人町2-20-1 第二岡田屋ビル401

大鑫産業株式会社

広めよう未来につながるリサイクル社会

大鑫産業株式会社は、不用品や廃棄物のリサイクルを専門とする会社です。

非鉄スクラップ	自動車部品	OA機器	基板	CPU貴金属
---------	-------	------	----	--------

●電子部品、パソコン関係などの在庫処分にお困りの方は、DAIKINにご相談ください。 ●生基板、トナーカートリッジを買取、リサイクルいたします。

DAIKIN

TEL. 0297-30-3308(代表) FAX. 0297-30-3309

本社: 〒306-0515茨城県坂東市沓掛6464 <http://daikin34.com/index.html>

Information エンタメ/イベント/日台交流

国立清華大学×上越教育大学 台日絵画合同展



楊絮婷《新しい辞書計画》ミクストメディア
台湾国立清華大学と上越教育大学の台日絵画合同展が4月1日から15日まで佐藤美術館で開催される。

台湾人バンド×世界のごちそう コラボレーション



世界195ヶ国の珍しいご馳走を作る、世界のごちそう博物館・本山尚義シェフがレシビペルの制作が叶い4月9日、制作を祝したパーティーを大阪市で開催

台湾ボーイズバンド「noovy」が1000枚CDを完売!日本ワンマンライブ決定!!

2017年1月から、本格的に日本でも活動を始めた台湾出身・平均年齢19歳の4人組バンド「NOOBY」。



読者プレゼント企画
台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で3名様に「NOOBY 初ワンマンライブ」をプレゼント致します!

関西台商会に兪秀霞会長が就任

日本関西台商協会(以下:関西台商会)創立20周年を記念したパーティーが昨年12月23日に奈良のパークホテルで行われ、第11期会長に兪秀霞会長が新しく就任した。



日本関西台商会の兪秀霞会長
様々な取り組みを行ってきた。千葉友会率団訪問、同会青年部との交流及び春節祭での台湾グルメの販売・PR、大阪僑務委員会の具会長の座談会等、他団体との交流も大事に取り組み、お互いに有意義な活動に繋がって行きたいとしている。

油絵個展開催の画家『李素貞』さんインタビュー

作品を通して人権を主張する台湾の画家「李素貞」さんの個展「1人の母親が描いた台湾」が4月5日より東京芸術劇場で開催される。



油絵画家の李さん
「台湾の多元文化」、「未来への展望」と4つの構成に分け、全71作品の展示が行われる。

Advertisement for Shintomi International Language School and Chiba-Taiwan Chamber of Commerce. Includes text: 来日本, 找新富, 用心呵護, 用愛守候. 日本留學, 日本短期留學, 日臺打工度假簽證, 體驗日本文化.

Advertisement for insurance services. Text: 法人契約で全額損金! 節税対策、退職金準備に最適! 万一の保障に + 介護障害特約 保険が登場しました. Includes a table of insurance benefits and contact information for Link Support Group.



視線の交錯を通して日台文化交流

有する台湾人アーティストの作品、台湾のアートコレクターが保有する日本人アーティストの作品を展示する内容。台湾人アーティスト5人、日本人アーティスト11人の作品が

「日台の互いの理解が深まり、1つの交流の輪をひろげていけたらとの想いで同展を企画した。アートがより生活の中に生きていけるようにサポートしていきたい」とコメントした。さらに、同展のキュレーターを務めた東京都現代美術館の長谷川裕子参事は、「以前アートフェア等で台湾人コレクターの日本アートに対する深い理解や情熱を感じていた事があった。彼らが日本の作家をどうやって見ているか、そしてそのまなざしによって日本の作家がどのように私たちに新しく映っていくのか、視線交錯による新しい発見や喜びができればいい」とタイトルに込めた想いを語ったほか、「文化交流に加えて、コレクターや倉庫に秘められていた作品が表に出てきて、これが様々な形で重要な役割をアートの世界で演じているという事を魅せていく」と同企画の主旨についても話した。

なお、中野社長は25年間台湾での居住経験があり、また台湾文化庁の名誉顧問も務めている等、日台の文化交流に尽力を注

いでいる。同会終了後は同展会場でもあるT-ART GALLERYでレセプションパーティーも開催され、さらなる文化交流と今後の芸術分野の発展を祝った。

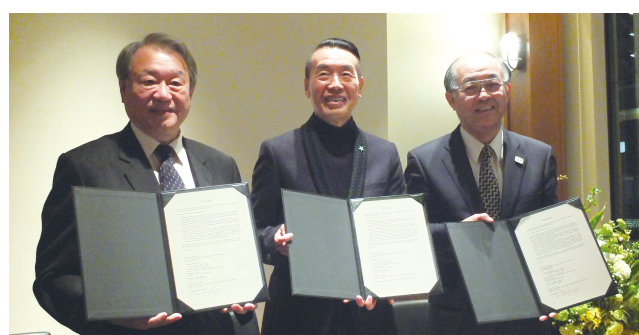
同展は寺田倉庫で3月16日から4月2日まで、台湾文化センターは3月16日から同26日まで開催された。

覚書締結で人材育成を強化

また3月15日、寺田倉庫、横浜美術大学、台湾の正修科技大学の3社間交流に関する覚書締結の調印式も行われた。この調印式は、2016年12月20日に締結された、横浜美術大学と正修科技大学が修復保存の海外研修を行うインターンシッププログラム等の姉妹校締結及び大学間交流協定に覚書した両大学の交流に対し、寺田倉庫が支援

するために実施したもの。中野社長は、美術品の修理修復は産業化しなければならないと主張し、調印後は、新しい芸術を作り出す人材の育成、及び個人や家族等の宝物の修復や保存技術者を育成していく等、より一層相互の連携を図る事を目的とした。

正修科技大学の龔瑞璋学長は、「アジアの文化財保存学の領域に活力を与え、歴史の1ページになるだろう」とコメントした。



3社間交流協定締結式に龔学長、中野社長、岡本学長

東京都品川区にある寺田倉庫と台湾文化センター合同主催による日台文化交流展覧会「マイ・コレクション展—感性の寄港地—」が3月16日より開催された。これに先立つ3月15日、寺田倉庫所有のT-Lotusでプレス発表会が行われた。「マイ・コレクション展」は、寺田倉庫の美術品倉庫利用者の絵画コレクションから一部を展示する展覧会で、今回は「感性の寄港地」をテーマに、日本のアートコレクターが保

作品の前で記念撮影する謝代表(右)と中野社長から小さなオブジェクトまで計23点は、5人の台湾人コレクターと3人の日本人コレクターによって収集されたもの。

主催側の台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表は、「今回集まった作品は非常に高い評価を受けている。倉庫と関わり品物を保管する所と思えば、同展のような文化交流など倉庫の枠組みを超えた取り組みを実施しているのは大変喜ばしい事」と述べた。また寺田倉庫代表取締役の中野善壽社長は

劉若英来日!「後來」等42曲熱唱

中華圏で大人気の女優歌手の劉若英が3月23日、東京都江東区のZepp DiverCity TOKYOでライブ「Renext WORLD TOUR」を開催した。劉若英が日本でライブを行うのはこれが初となる。当日は国籍を超えた多くのファンが駆けつけた。

劉若英の大ヒット曲となった日本歌手「kioro」の中国語カバー曲「很愛很愛你」や「後來」、「アンジェラ・アキ」の中国語カバー曲「繼續—給十五歲的自己」のほか、アンコールを含めおよそ3時間に及ぶステージで、全42曲を熱唱した。なかにはアジアの人気バンドMAYDAYの「乾杯」や他の台湾歌手のヒット曲を歌うなど、会場を沸かせる場面もあった。

曲の合間には「もう桜咲いた?誰が私と一緒に花見してくれるの?」等ファンに問いかけながらの交流や、「本当に?すみません」との日本語も披露。また、特殊な演出効果等

の工夫も施され、衣装チェンジも多数行なわれるなど、歌声以外の部分でもファンを魅了した。全ての曲をファンも一緒になって熱唱し、全員が携帯のカメラの光で会場を照らす場面もあり、終始会場は一体化していた。

劉若英は「最初の海外旅行は母に連れられた東京。デビュー以来22年、ようやく東京に来る事ができた。今日はたくさんの初めてがあつて嬉しい。これからは努力し常に好奇心を持ちながら歌を歌っていききたい」と日本でのライブが叶った事に対する想いを語った。

劉若英は1994年に映画「少女小漁」で女優としてデビューし、台湾アカデミーの最優秀主演女優賞を受賞している実力派俳優。アメリカで声楽やピアノを学んだ経験もあり、元々歌手志望だった劉若英は歌手としてもデビュー。現在では台湾だけではなく中国大陸でも大人気だという。同ライブにも中国大陸

のファンが多く見られ、劉若英のニックネームでもある「奶茶」とのフェイスシールを貼っているファンも目立った。中国大陸から来たファンは、こんなに近くで見られる機会がほとんどないため、興奮が冷めない様子だった。

なお、4月にはオーストラリアやアメリカ等世界4ヵ国でのライブを予定している。



劉若英42曲熱唱

沖銀、台湾カード対応のATMを設置

沖縄銀行(玉城義昭頭取、以下:沖銀)は3月6日、台湾の金融機関が発行するクレジットカードやキャッシュカードで即時に日本円が引き出せる「海外発行カード対応ATM(現金自動預払機)」を沖縄県内の沖縄銀行本店営業部とイオン北谷店の2カ所に設置した。

同ATMは、台湾で発行されたクレジットカードやキャッシュカードで「日本円」を即時に引き出す事ができるもの。台湾で発行されたキャッシュカードで即時日本円引き出しができる機能は、沖縄初の取組みだ。使用出来る台湾のカードは臺灣銀行、彰化銀行、華南銀行、新光銀行、玉山銀行、高雄銀行など18銀行。対象の取引は引き出しに限られる。

同サービスは沖縄県のインバウンド対策への支援として実施した。先に海外発行カード対応ATMを行っていた北海道銀行(頭

取笹原晶博)との提携により、沖縄地域初の設置となった。沖銀によると、近年、台湾からの観光客は航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加に伴い上昇の一途をたどっており、

昨年には60万人を超える勢いになっているという。同サービスにより台湾からの観光客による消費拡大を図り、沖縄県の経済発展に繋がりたい考えだ。



「海外発行カード対応ATM」を沖縄県内2カ所に設置

台湾国際不動産理財投資展示会 Taiwan International Estate Expo

ブース募集中

「88%の出店業者が予想の出展目標達成 目標達成」

台北不動産博覧会は数十億のビジネスチャンスを作る!

- 出展利益 消費者に不動産購入の自信をつけます。
- 出展利益 業者の知名度アップ。
- 出展利益 個別企業の市場価値を目立たせます。
- 出展利益 国際バヤーに日本の投資を注目させます。

台湾国際不動産理財投資展示会 Taiwan International Estate Expo

2017年6月9日~6月12日 金曜日~月曜日 10:00~18:00 台北世貿中心展覽一館 (台北市信義區信義路五段5號)

詳細請見↓



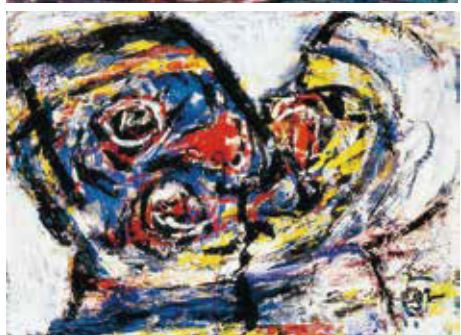
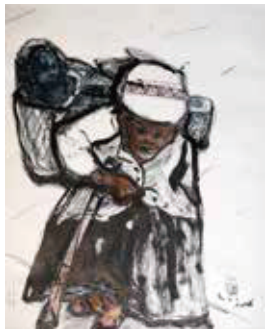
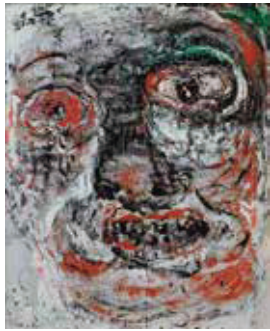
広告



日本人が知らない台湾の近代史

揺れ動く国際情勢の中で台湾という小さい島に住むことを余儀なくされた人々の心に潜む

不安 慟哭 恐れ 叫び 希望 勇気



李素貞

創作油絵

個展



台湾の与謝野晶子

李素貞さん個展に寄せて

非常にインパクトの強い絵がたくさん描かれていました。

黒い画面、太く歪んだ線、エドヴァルド・ムンクの『叫び』を連想させるような変形した顔、これらの作品を観て、正直息が詰まるような想いをしました。しかし、絵を描いた目の前に居る李素貞さんは、大変明るくふくよかで、お話し好きな女性でした。画風としては、世界的には少数派の、しかし確固たる背景と歴史に裏付けられたコブラ派(思想を絵で表現する)に属しているとの事でした。

全身からは2人の子を産み、守り育て上げてきた母としての逞しさと、国家や社会に、媚びない、何者をも頼らないという分野こそ違え、あの与謝野晶子を彷彿とさせるような自立・自活の気概が放たれていました。

作品からは、思想というよりも台湾の風土そのものが母親の情念となって凝縮されているように感じを受けました。台湾の風土が李素貞さんの遺伝子にしみ込み、彼女が成長して母性を発芽させる時期になると、これらの絵のため

の筆を運ばせたのではないかと考えるほどでした。暗い絵だけではありません。先住民を描いたものには、青空の下、のほのほとした日の光が恵まれているものもあります。そこには母としての惜しみない愛情が、力強く投影されています。「母を前にして、二つの中国と一つの台湾という論議は意味を持たない。台湾の土が私の母、台湾の海が私の父、台湾の山が私の姉、台湾の川が私の弟、そして台湾の平野が私達の子供の遊び場。」と強く訴えている叫び声が聞こえてくるような絵がたくさんあります。

「国とは王を(まもる)と書く。国の覇権をめぐる争いなど、この台湾の地とは無縁である。風光煌びやかな台湾の風土。この地上の楽園において仲睦まじく生きる無数の命たち。これらの尊厳を母の愛で守らなければならない。」
「荒れる大海、

4月5日(水)〜9日(日) 東京芸術劇場 「李素貞作品展」
コブラ派としてとも有名な画家・李素貞さんですが、日本での個展は初めてです。日本と台湾のさらなる友好を祈念して、今回は電話予約者千名様を無料招待いたします。先約順です。このような機会はほつたにありません。この機会をどうぞお見逃しなく。お一人でも多くの方のご来場をお待ちしております。
2017年4月吉日 フリージアグループ 代表 佐々木ベジ

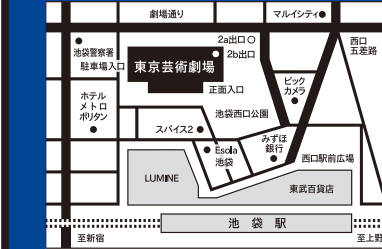
一人の母親が描いた台湾
a mother paints Taiwan
一個母画台湾



揺れる海
母の眼で
護る島



池袋 西口 東京芸術劇場 5F ギャラリー1 台湾アートの空間
118坪の大ギャラリーに台湾の画家・書道家他台湾アーティスト作品を展示
主催：日台佐佐木芸術交流協会 フリージアグループ
個展 お問合せ先 03-6635-1777
<受付>9:00 ~ 19:00 担当 関口
東京芸術劇場
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-8-1
JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。駅地下通路2b出口と直結しています。



先約 1,000 名様
無料招待!

先約順優先!
今すぐ上記の電話まで

入場料 無料
要電話 予約

李素貞個展 HP



http://www.freesia.co.jp/art/index.html

後援：産経新聞社・台湾新聞社・台北駐日経済文化代表處 台湾文化センター